

公衛協活動研究セミナー開催

活動活性化を図る場づくり
情報公開やPRを積極的に



8月の東部エリアのセミナー。他の学区や市の活動取り組みを発表し合った。



公衛協活動研究セミナーは、公衛協活動の活性化を図る「場づくり」として、当協会が主催する研究会で、公衛協活動概論や重点メニューの紹介、脱温暖化など各エリアにおける課題解決をテーマとして

平成25年度は、昨年に引き続き、東部エリア・西部エリア・東部エリア・北部エリアの県内4つのエリアで1〜4回の研修会を実施予定。今回は2つのセミナーについて報告する。

【東部エリア】

東部エリアは、三原市・世羅町・尾道市・福山市・府中市・神石高原町の4市2町の公衛協が対象となる。今年度は、4回のセミナーを予定しており、8月1日に第2回目のセミナー

【西部エリア】

西部エリアは、廿日市市・廿日市市吉和・廿日市市佐伯・廿日市市大野・廿日市市宮島・大竹市の2市の公衛協が対象となる。今年度は、西部エリアの公衛協活動を「知り合おう」と題して、7月26日に開催し15人が参加した。



西部エリアのセミナーでは、ワークシートを回覧し、情報共有。

専門研修「企画づくりコース」開催



当協会主催の「専門研修」は、公衆衛生推進委員が公衛協活動に必要な専門的な知識や技術を学ぶ場である。今年度は、「基礎研修の開き方コース」「水辺教室指導者養成コース」「企画づくりコース」を開催

「企画づくり」を実施する。今回は、8月7〜8日に開催した「企画づくりコース」について紹介する。会場は呉市川尻町の「国民宿舎野呂高原口ツ

日頃感じている問題点や課題を整理
解決に向けた事業の企画を立案

「企画づくり」では、活動相互に知り合う機会を設け、各自の活動に活かすことをねらいに開催。ワークシートを使い、公衛協の現状をまとめ、回覧して気づきを書き込んでもらったり、活動発表プレゼンテーションなどを行った。

この研修は、事業企画のノウハウ習得を目的とし、新しい事業を考え、関係者に提案できる企画づくりに挑戦した。目標として、5公衛協11人が参加した。

まず、参加者が日頃感じている問題点や課題を整理し、二つに絞り込み、その解決に向けた事業の企画づくりに取り組み組んだ。絞り込んだ結果、発表内容が充実して

熱心に取り組む、事業の実施に向けた意欲が旺盛であった。最後は、実際に企画を説明する場面を想定してプレゼンテーションを行い、どの研修で学んだことを活かし、地域に貢献できる

企画された事業一覧

- ①「世羅町の川は、ほんまにきれいなんじゃろうか?」事業
- ②「いきいき健康体操」の実施
- ③ ゴミ分別減量作戦
- ④ 公衛協だよりの作成・配布
- ⑤ 健康ウォーキング
- ⑥ 誇れる美しい町づくり
- ⑦ 献血の輪を広げて支え合うまちづくり



⑥エコ INN くらせ

エコINNくらせは、自分たちができる身近な脱温暖化行動を地域ぐるみで推進し、環境にやさしいまちづくりをめざそうと、平成18年3月22日に設立された。

里山保全から脱温暖化を啓発

省エネ診断で家庭の取り組みも



省エネ診断で、効果的な取り組みをアドバイス

平成21年度には『いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト』を発足。里山保全を通じた脱温暖化を推進しようと、ドラム缶で窯を製作し、粉殻くん炭づくりをスタートさせた。粉殻くん炭は土壌改良効果があり、野菜や米づくりへの活用を推奨してきた。この取り組みをメディアでPRしたところ、「くん炭製作の様子を見学したい」「窯を貸してほしい」「くん炭が欲しい」といった問い合わせが殺到したほか、自らくん炭を作る仲間が増えるなど、町内外へと利用者が拡大している。

平成23年度からは、長年、問題となっていた放置竹藪に注目し、竹炭づくりをスタートさせ、クラフトや脱臭袋、野菜の栽培、河川の浄化など、さまざまな活用方法を研究し推奨している。中でもクラフトづくりは、幅広い世代から人気がある。20センチ程度に切った炭に、ドライフラワーに加工した地元の自

然植物を貼り付けるだけで、オリジナルクラフトが完成する。消臭効果もあり、玄関などの飾りつけにお勧めだそうだ。

放置竹藪の問題を他の用途で解決し、里山保全から脱温暖化を考えるきっかけとしてPRし続けるとともに、活用方法の更なる研究を進めていきたいと、同協議会の西濱会長は意気込む。

また、近年「省エネ診断」にも力を入れている。7月28日、東広島市中央生涯学習センターで開催された「ひがしひろしま環境フェア」で診断コーナーを設置。専用ソフトを使って、受診者の家庭のエネルギー使用状況などを把握したうえで、効果的な省エネの取り組みをアドバイスした。20人以上が受診し、「我が家の状況を初めて知った。大変参考になった」「家族と相談し、できることから取り組みたい」など、省エネへの意欲が高まった様子であった。

今後は、同市で活動する「ひがしひろしま環境家族」と連携し、「省エネ診断」を通じた脱温暖化啓発活動を地域全体で展開していく予定だ。

(脱温暖化センターひろしま)

良い事業につながることを期待している。
(地域活動支援センター)